

平成28年度事業報告

公益財団法人服部植物研究所

I. 事業内容

1. 公益目的事業

1. 1 研究事業

I. 1. 1 蘚苔・地衣類の研究

1. 蘚類の分類・分布について研究する。

(1) 日本における分布上興味深い植物が集中して生育する地域の蘚類の調査結果をまとめ、*Hattoria* No. 8 に英文で報告した。新たに 19 属を日本の蘚類フロラに追加し、日本新産 56 種を報告した。

(2) 形態分類による *Fissidens* (ホウオウゴケ属) の亜属・節の分類について、分子系統解析による検証の研究をまとめ、2017 年度報告を予定している。

2. 苔類の分類・分布について研究する。

(1) 南米産の *Sect. Dichotomae* の研究を継続した。

(2) *Radula javanica* *Gottsche* の研究を完了し、原稿も完成した。2017 年に発表を予定している。

(3) *Calypogenia neesia* 群の研究を完了した。原稿をまとめ、2017 年に発表を予定している。

3. 地衣類の分類・形態、化学成分、生態、分布について研究する。

(1) 日本産地衣類の多様性を明らかにするとともに「原色日本地衣植物図鑑」(吉村 1974) の改定を図る「日本地衣類誌」の一部として、ムカデゴケ科のヒラムシゴケ属 *Hyperphyscia*、ムカデゴケ属 *Physcia*、ムカデコゴケ属 *Physciella*、クロウラムカデゴケ属 *Phaeophyscia* の 4 属についてまとめた。(4 件原田論文)

(2) 薄層クロマトグラフィーを用いた化学分類学的手法により、ムカデゴケ科コフキゲジゲジゴケの化学成分について報告した。(原田論文)

(3) 中国雲南省の金沙江沿いの乾燥地域の地衣類に関する共同研究により、アナイボゴケ科ツブゴケ属 *Agonimia*、ミドリゴケ属 *Endocarpon*、ラン藻地衣のシズミゴケ属 *Collemopsidium* について明らかにした。(3 件原田論文)

(4) 日本産のコザラゴケ属 *Gyalidea* の 2 新種を記載し、日本新産のキヨスミゴケ *Polymeridium* を報告した。(3 件原田論文)

(5) 長野県内における地衣類の多様性・分布に関する共同研究により、県内から記録がないあるいは少ない 16 種について報告した。(2 件原田論文)

(6) 日本産チャンブゴケ属 *Lecanora* と近縁属の 23 種について新和名を提案した。(原田論文)

- (7) 日本産のスミイボゴケ属 *Buellia* の2新種を記載し、報告した。(1件原論文)
- (8) 日本産スミイボゴケ属と近縁種について、複数の遺伝子座を用いた分子系統解析を行った。(1件原論文準備中)

4. 日本の分布上興味深い種が集中する地域の蘚苔植物について研究する。

栃木県奥日光において調査・研究を継続した。

II. 蘚苔・地衣類のデータベース作成

- 1. 新日本産蘚類カタログ(2004年出版)の改定を行い、*Hattoria* No. 7で報告した。
- 2. 新日本産苔類カタログ Yamada, K& Z. Iwatsuki(2006). *Catalog of the Hepatics of Japan*. *J. Hattori Bot. Lab.* 99:1-106. (2006年出版)の改定については、3度のチェックを終えて訂正箇所(2007年~2014年に変更になった分)を修正した。2017年に完了予定である。
- 3. 日本産地衣類のチェックリスト(2004発行)の補遺の作成を引き続き進めた。
- 4. 日本の地衣学に関する文献の目録の補遺の作成を進めた。
- 5. 島田分室・高知分室の所蔵標本をデータベース化するために専属の人員を雇い、専門業者に依頼作成した専用ソフトを使い作業を進めた。

III. 資料の収集・整理、及び普及活動

- 1. 現地調査及び交換により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。
 - (1) 現地調査及び交換により、蘚苔類の標本256点(国内から180点、外国から76点)を収集した。(湯澤コレクション4、914点は別述)
 - (2) 購入・交換により内外の蘚苔・地衣類関係の文献151点(購入25点、交換126点)を入手した。
- 2. 蘚苔・地衣類関係の資料(標本、図書、別刷り、など)の整理を続けた。
 - (1) 本年度収集された標本256点の仕分けを行った。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。
 - (4) 外国産蘚類標本棚の整理・まとめ及び標本移動を行った。
 - (5) 日本産蘚類標本棚の整理・まとめ及び標本移動を行った。
 - (6) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。
 - (7) 地衣類標本の整理、収集を行った。
 - ① 服部植物研究所が所蔵する地衣類標本の内、未同定標本の同定と整理を行った。
 - ② 高知分室管理の標本248点を同定・整理した。
 - (8) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行った。
 - (9) 島田分室の標本整理を行った。
 - (10) 震災で収納出来なくなった福島湯澤博士の標本4、914点を受入、整理を行った。

3. 内外の研究者の要請に応じ、標本の貸し出し（国内3件、11点・国外4件、8点）を行った。

4. 内外の研究者及同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類資料の学名同定を行った。

5. 自然保護、及び蘚苔・地衣類学に関する情報を広く一般に知ってもらうため、自然観察会、講演会その他の普及活動を行った。

(1) 平成28年5月22日(日)岐阜県美濃市において講師に広島大学の片桐博士を迎え、コケの観察会を実施した。参加者は20名であった。

(2) 平成28年6月4日(土)三重県北牟婁郡紀北町海山区木津にて、三重県立熊野古道センター主催「熊野古道の植物を学ぶ・第3回コケ植物編」コケ学習会を行った。参加者は22名であった。

(3) コケのテラリウム作りを平成28年7月16日(土)JA日向婦人会6名に対して、また7月30日(土)に日南市雇用創出プロジェクト事業の一環として(24名参加)当展示場で行った。

(4) 当研究所所蔵コケの書籍の展示を10月に東京都町田市で、11月に岡山県加賀郡吉備中央町で行った。

6. 蘚苔・地衣類学と故服部博士と服部研究所に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示を行った。年間の入場者数は2,528人であった。

7. 研究員による学術論文等の研究成果をわかりやすく解説するコンテンツをホームページに追加する等、ホームページの更なる充実を図り、研究者はもちろん、一般の方に向けても情報を発信した。

8. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。

9. 服部植物研究所創立70年記念事業を、平成28年11月27日(日)に日南市小村寿太郎記念館大会議室で実施した(参加者150名)。内容は星良和東海大学教授の講演「コケと環境・ミズゴケ湿原の再生事業」、伊藤賀操理化学研究所研究員の講演、「コケを使って金(ゴールド)を集める方法」、出口博則広島大学大学院特任教授・服部植物研究所理事の講演「コケの不思議の世界とその研究」、片桐知之広島大学助教・服部植物研究所非常勤研究員の観察会「探索 コケの小宇宙(飫肥城址にて)」であった。

10. 広島大学をはじめ国内の若手蘚苔類研究者が、当研究所で研究を行うための旅費や、共同研究を行うための旅費の補助をおこなった(3名6回)。

IV. 研究成果の出版と販売

1. Hattoria No. 7を出版、販売した。また、J-STAGEに登載した。

2. HattoriaNo. 8の出版準備を行った。

3. 日本産地衣類に関するHPLC(高速液体クロマトグラフィー)データを出版するために、

原田が担当し、明治薬科大学高取（木下）薫准教授の協力を得て、編集作業を進めた。

4. Hattoria バックナンバーの J-STAGE 掲載の準備をした。

5. 服部植物研究所報告」の第 10 巻から第 20 巻までをホームページ上に載せ、計 1 巻から 20 巻まで無料でダウンロードできるようにした。

2. その他の事業

2.1 収益事業

2.1.1 土地の賃貸による収益事業をおこなった。

- 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
- 2). 基本財産である宮崎県日南市飫肥6丁目の宅地を駐車場（5台/月）として賃貸した。

2.1.2 山林事業

1). 一般財産である国有分収林 2 箇所（日南市酒谷小布瀬新設定第 1 区 2 株・日南市酒谷白木俣新設定第 4 区 3 株）の伐期となり立木を売却した。

3. 財団運営

3.1 理事会の開催

・平成28年6月4日（土）

議題 平成27年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件

・平成 29 年 3 月 11 日（土）

議題 平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

3.2 評議員会の開催

・平成28年6月18日（土）

議題 平成27年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件

・平成 29 年 3 月 26 日（日）

議題 平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

・平成 28 年 5 月 7 日（土）臨時評議員会

議題 監事選任の件